

平成26年度学内版GP公募要領

1. 目的

学内の教育の質の向上につながる教育取組の中から、特に優れた取組を支援する。ただし、研究助成を目的とはしない。

今回は、従来の第2期中期目標・計画の遂行という観点において特に優れた取組という種別に加え、アクティブ・ラーニング（能動的学修）を促す授業方法や教育方法の取組という特別枠を設ける。

特別枠を設ける目的は、第304回役員会及び第123回教育研究評議会資料「信州大学の学士課程教育等の見直しについて」の『学士課程教育の見直しを進める際の指針（ガイドライン）』の理解浸透とGPA制度の実質化である。（本学では、GPA制度導入の目的を、成績というものを意識することを通して学生が勉強するようになることに置いている。）

2. 募集するプログラム

本学を元気にする教育プログラムを対象とし、次の2枠を設ける。

一般枠： 第2期中期目標・計画の遂行という観点において特に優れた取組

特別枠： 従来のような知識の伝達・注入を中心とした授業ではなく、教員と学生が意思疎通を図りつつ、一緒になって切磋琢磨し、相互に刺激を与えながら知的に成長する場を創り、学生が主体的に問題を発見し解決を見出していくアクティブ・ラーニング（能動的学修）が実現される授業の取組や、授業時間外学習の確保を目指す取組等

※特別枠に予算の半分程度を充てる。

※学部・大学院の別は問わない。

※組織的取組・個人の取組の別は問わない。なお、組織的取組は、学部や学科、専攻等の単位での取組を対象とする。

※研究が主となる取組は対象としない。

3. 作成記入に当たっての注意事項

- (1) 様式は、「平成26年度学内版GP申請書」により作成してください。**【一般枠】と【特別枠】で用紙が違います**のでご注意ください。
- (2) 「取組内容」欄、「取組の概略図」欄にある解説（赤字・青字）については、記入の際は適宜削除してください。
- (3) 申請書は、内容・概略図を含めて全体を4ページ以内（厳守）で作成してください。

4. 採択件数

10件程度を予定しています。

5. 申請書の提出期限及び提出先

提出期限…平成26年1月31日（金）※厳守

提出先…学務部学務課教務グループ 奥原・細川

提出方法…電子メールにて (campus-gp99@shinshu-u.ac.jp) に提出してください。

※メールの件名は、「【学内版 GP】〇〇学部（※部局名）」としてください。

※申請書のファイル名は「【〇〇学部（※部局名）】取組申請者名」としてください。

6. 選定方法

応募のあった申請については、書類選考を行い、書類選考を通過した取組を対象としてヒアリング審査（詳細は別紙ヒアリング実施要領参照）を行った上で、選考会議により選定します。なお、書類選考結果並びにヒアリング審査実施については、取組責任者宛に通知します。

※過去3年間に採択された取組を基としている場合には、発展性を明確にしてください。ヒアリング審査の際には、過去の採択取組からどのように発展するかについて質問させていただきます。

7. 評価員

学長，理事（教務担当），高等教育研究センター長，並びに各学部，全学教育機構及び法曹法務研究科から選出された者1名の計13名

8. 選定結果の通知

所属長及び取組責任者宛に通知します。

9. 問い合わせ先

学務部学務課教務グループ 奥原・細川

内線電話：811-2416 / メールアドレス：campus-gp99@shinshu-u.ac.jp

10. その他

- ・本学内版 GP は文部科学省実施の GP 等の申請に係る学内選考ではありません。
- ・採択された取組が複数年度にわたる場合であっても単年度予算の配分となります。このため、その取り組みの継続をご希望される時には各部局の事業計画への組み入れを検討していただきますようお願いいたします。
- ・公募の案内は高等教育研究センターのウェブサイト (<http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/rche/>) にも掲載します。
- ・採択された取組には、1件につき500,000円（※平成25年度の配分額）程度の予算措置を行います。（※予算要求の段階のため、実際の配分額は変更することがありますのでご了承ください。）
- ・採択結果は高等教育研究センターのウェブサイトにて公表します。
- ・採択された取組には、計画終了時（平成26年度末）に報告書の提出を求める予定です。報告書は高等教育研究センターのウェブサイトにて公表します。
- ・採択された取組の担当者には、FD等の機会に取組について発表していただく場合があります。

《参考：採択までの流れ》

